

- ★ 低温・強風で生育が抑えられたほ場が多い！  
 ★ ほ場毎に莖数を確認し、中干しの適期実施を！

## 1 君津地域の生育概況

3月～4月5日ごろにかけて最高気温・最低気温ともに高めに推移したため、育苗は高温障害や徒長との戦いで、病気の発生も見られるなど、管理の難しい年でした。移植後は、4月中～下旬の低温と強風の影響で、一部のほ場で活着が遅れ、生育が停滞しました。5月は平年並みの気温になったため、早生品種を中心に分けつが進んでいますが、全体的には生育の遅れが残っています。イネミズゾウムシの食害が多く、イネゾウムシに葉が切られたほ場があるなど、害虫の発生が目立ちます。

今後は6月上旬まで高温になる予報ですので、莖数は順調に増えると予想されます。莖数が確保されたら、莖数過剰になる前に中干しを開始しましょう。低温や強風の影響で生育が停滞したほ場では、浅水管理にして水温を高め、生育や莖数の確保に努めましょう。

## 2 生育調査ほの調査結果※（5月20日）

品種		田植え日	葉令	草丈(cm)	莖数 (/株)	莖数 (/m <sup>2</sup> )
ふさおとめ① (袖ヶ浦市)	R3年	4/13	7.3	26.7	12.9	200
	平年値	4/16	7.4	26.6	12.9	198
	平年比	-3	-0.1	100%	100%	101%
ふさおとめ② (袖ヶ浦市)	R3年	4/16	7.9	28.1	16.8	259
ふさこがね (木更津市)	R3年	4/23	6.5	25.4	5.9	112
	R2年	4/23	5.8	24.0	4.8	91
コシヒカリ (君津市)	R3年	4/25	6.0	31.0	9.3	158
	平年値	4/27	5.3	27.0	12.5	194
	平年比	-2	+0.7	115%	74%	81%
粒すけ① (君津市)	R3年	5/3	5.5	21.7	4.8	76
	R2年	5/2	5.4	25.8	7.1	116
粒すけ② (木更津市)	R3年	4/16	7.3	24.5	15.9	245
	R2年	4/21	-	27.6	11.4	210

※ふさおとめ①の平年値は平成23年～令和2年の平均、コシヒカリの平年値は令和1、2年の平均。ふさおとめ②は令和3年から新たに調査ほ場になったため、平年値はありません。

-郵便で配信している方へお願い-

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切り替えを進めています。切り替えをご希望の方は、下記までご連絡ください。

連絡先 鐘ヶ江(かねがえ) y.knge@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299 (電話)

### 3 これからの管理のポイント

#### ① ほ場ごとに茎数を確認し、中干しの適期実施

今年は、昨年度よりは少ないものの、稲わらの分解による「ワキ（ガス害）」の影響が出ているほ場が散見されます。根の生育を促すため、また、過繁茂を防ぐため、表1の中干し開始時期の目安を確認し、目標茎数に到達し次第、中干しを開始しましょう。中干しは、稲の生育に大きな影響を及ぼし、かつ生育制御ができる重要な管理作業です。

目標茎数に達していないほ場では、引き続き浅水管理で茎数確保を図る必要があります。一方、6月上旬までは高温になる予報ですので、茎数が急激に増加する可能性が高いです。中干しが遅れないように注意しましょう。

中干しの強さは、田面に軽い亀裂が入り、田面を歩いても長靴が沈まない位を目安とします。

表1 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	480本/m <sup>2</sup> (27本/株)	440本/m <sup>2</sup> (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)	360本/m <sup>2</sup> (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m <sup>2</sup>	310本/m <sup>2</sup>	300本/m <sup>2</sup>
	5月1日	(18本/株)	(17本/株)	(16本/株)
粒すけ	4月20日	460本/m <sup>2</sup> (25本/株)	420本/m <sup>2</sup> (23本/株)	

※ ( ) 内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安

※極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがあります

#### ② ばか苗病の発生・対策について

「ばか苗病」が種子生産ほ場やその周辺ほ場で発生すると、種子として出荷できなくなります。千葉県内の種子生産ほ場の半分以上は君津地域に存在しています。県産優良種子の安定生産のためにも、「ばか苗病」を本田で確認した際には抜き取ってほ場から離れたところで処分し、新たな感染源とならないよう御協力をお願いします。

#### ③ スクミリンゴガイ、イネミズソウムシ、イネクロカメムシ等の害虫の発生に注意！

農林総合研究センター作成の病害虫発生予報第2号によると、スクミリンゴガイの発生量は「やや多」、イネミズソウムシは「並」、イネクロカメムシは「やや少」の予報となっています。また、今年はイネソウムシによって葉が切れたほ場が多いので、多発しているほ場では適期防除を行いましょう。

#### ④ (三島ダムの水位低下による渇水への対策として) 節水への御理解と御協力を！

5月中旬から下旬にかけて降雨もありましたが、今後の梅雨の降雨状況によっては渇水となる可能性があります。かけ流し防止や漏水防止による節水への御協力を今後もお願いします。